

「放射線被ばくとがんの関係性について」

開会の挨拶 青木 芳朗 (放射線影響協会 理事長)

(10時00分～10時10分)

座長 巽 紘一 (放射線影響協会 疫学調査センター センター長)

講演1 非DNA標的がん誘発機構と低レベル放射線被ばく

渡邊 正己 (京都大学 原子炉実験所 放射線生命科学部門 教授)

(10時10分～11時10分)

座長 近藤 宗平 (大阪大学 名誉教授、近畿大学 名誉教授)

講演2 低線量被ばく影響におけるLNT説と反LNT説の論拠

田ノ岡 宏 (元国立がんセンター研究所 部長、放射線影響協会 理事)

(11時10分～12時10分)

昼食

(12時10分～14時00分)

座長 佐渡 敏彦 (放射線医学総合研究所 名誉研究員、大分看護科学大学 名誉教授)

講演3 原爆被爆者の高齢化と免疫学的変化

楠 洋一郎 (放射線影響研究所 放射線生物学/分子疫学部 部長代理)

(14時00分～15時00分)

休憩

(15時00分～15時20分)

座長 秋葉 澄伯 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 教授)

特別講演 放射線職業被ばくの影響：15ヶ国共同調査研究と英国 Nat. Registry
第3次レポートについて

リチャード ウェイクフォード (英マンチェスター大学ダルトン原子核研究所 教授)

(15時20分～16時50分)

閉会の挨拶 野村 保 (放射線影響協会 常務理事)

(16時50分～17時00分)